

全商財務会計検定試験 第17回 解答解説

【1】

1	2	3	4	5
○	×	×	○	×

2. 退職給付債務は、退職給付見込額のうち、期末までに発生していると認められる額を（現在価値に）割り引いて計算する。
3. 固定資産を購入によって取得した場合には、購入代価に付随費用を加えて取得原価とするが、値引又は割戻を受けたときには、これを購入代価から控除する。
5. 金融商品取引法に基づく財務諸表監査は、主に投資者保護の観点から行われる。

【2】

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	株 式 報 酬 費 用	540,000*	新 株 予 約 権	540,000
2	減 価 償 却 費	4,800,000* ¹	建 物 減 価 償 却 累 計 額	4,800,000
	圧 縮 積 立 金	1,680,000* ²	繰 越 利 益 剰 余 金	1,680,000
	繰 延 税 金 負 債	720,000* ³	法 人 税 等 調 整 額	720,000
3	ソフトウェア償却	2,250,000*	ソ フ ト ウ ェ ア	2,250,000
4	利 息 費 用	19,409* ¹	資 産 除 去 債 務	19,409
	減 価 償 却 費	2,129,390* ²	機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額	2,129,390
5	現 金	90,000* ¹	受 取 利 息	161,560
	長 期 貸 付 金	71,560* ²		

（別解）5 は貸方の「受取利息 161,560」を「受取利息 90,000」と「受取利息 71,560」としても可。

1. * $60,000 \text{ 円} \times 36 \text{ 個} \times \frac{6 \text{ か月}}{24 \text{ か月}} = 540,000 \text{ 円}$

2. *1 $48,000,000 \text{ 円} \div 10 \text{ 年} = 4,800,000 \text{ 円}$

*2 (1) $24,000,000 \text{ 円} \times 30\% = 7,200,000 \text{ 円}$ （法人税等調整額、繰延税金負債計上額）

(2) $24,000,000 \text{ 円} - 7,200,000 \text{ 円} = 16,800,000 \text{ 円}$ （圧縮積立金の積立額）

(3) $16,800,000 \text{ 円} \div 10 \text{ 年} = 1,680,000 \text{ 円}$ （圧縮積立金の取崩し）

*3 $7,200,000 \text{ 円} \div 10 \text{ 年} = 720,000 \text{ 円}$ （繰延税金負債の取崩額）

なお、問題文の「国庫補助金相当額を×8年3月31日に（中略）圧縮記帳を行っている」は「×7年3月31日に」とするのが適切だと思われる。

3. * (1) $4,500,000 \text{ 円} \times \frac{1,500 \text{ 個}}{3,000 \text{ 個}} = 2,250,000 \text{ 円}$ （見込販売数量に基づく償却額）

(2) $4,500,000 \text{ 円} \div 3 \text{ 年} = 1,500,000 \text{ 円}$ （残存有効期間に基づく均等配分額）

(3) (1) > (2) ∴ 2,250,000 円

4. *1 (1) $750,000 \text{ 円} \times 0.8626 = 646,950 \text{ 円}$ （×7年度期首時点の資産除去債務計上額）

(2) $646,950 \text{ 円} \times 3\% \div 5 = 19,409 \text{ 円}$ （円未満四捨五入）

*2 $(10,000,000 \text{ 円} + 646,950 \text{ 円}) \div 5 \text{ 年} = 2,129,390 \text{ 円}$

5. *1 $5,000,000 \text{ 円} \times 1.8\% = 90,000 \text{ 円}$

*2 (1) $4,616,000 \text{ 円} \times 3.5\% = 161,560 \text{ 円}$ (受取利息の合計額)

(2) $161,560 - 90,000 = 71,560 \text{ 円}$

なお、問題文では単なる貸付金のようにも読めますが、「券面利子率」という表現から証券を発行していると考えられるため、本問は相対取引による貸付ではなく社債の取得であり、一般的には「額面金額 5,000,000 円の社債を 4,616,000 円で取得した」という問題文になると考えられます。

【3】

問 1

(ア)	売掛金	330,000 円
(イ)	買掛金	160,000 円
(ウ)	前払費用・前受収益 どちらかを○で囲むこと	2,500 円
(エ)	為替差損・為替差益 どちらかを○で囲むこと	28,500 円

(ア) $2,000 \text{ ドル} \times 165 \text{ 円/ドル}$ (期末日の直物為替相場=CR) = 330,000 円

(イ) $1,000 \text{ ドル} \times 160 \text{ 円/ドル}$ (先物為替相場=FR) = 160,000 円

(ウ) ① $1,000 \text{ ドル} \times (160 \text{ 円} \langle \text{FR} \rangle - 155 \text{ 円} \langle \text{為替予約時の直物相場} \rangle) = 5,000 \text{ 円}$ (為替予約時の直先差額、前払費用計上額)

② $5,000 \text{ 円 (直先差額)} \times \frac{1 \text{ か月}}{2 \text{ か月}} = 2,500 \text{ 円 (次期分)}$

(エ) (1) 為替差損

① $1,000 \text{ ドル} \times (155 \text{ 円} \langle \text{為替予約時の直物相場} \rangle - 150 \text{ 円} \langle \text{輸入時の直物為替相場} \rangle) = 5,000 \text{ 円 (直々差額)}$

② $5,000 \text{ 円 (直先差額)} \times \frac{1 \text{ か月}}{2 \text{ か月}} = 2,500 \text{ 円 (当期分)}$

③ ①+② = 5,000 円 + 2,500 円 = 7,500 円

(2) 為替差益

① $1,000 \text{ ドル} \times (150 \text{ 円} \langle \text{売掛金回収時の直物為替相場} \rangle - 148 \text{ 円} \langle \text{輸出時の直物為替相場} \rangle) = 2,000 \text{ 円}$

② $2,000 \text{ ドル} \times (165 \text{ 円} \langle \text{期末日の直物為替相場} = \text{CR} \rangle - 148 \text{ 円} \langle \text{輸出時の直物為替相場} \rangle) = 34,000 \text{ 円}$

③ ①+② = 2,000 円 + 34,000 円 = 36,000 円

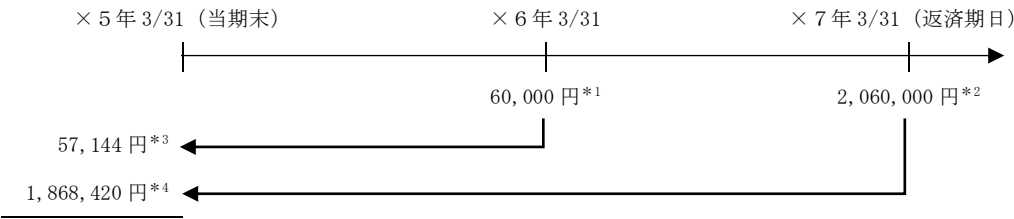
(3) (1) + (2) = 7,500 円 + 36,000 円 = 43,500 円

問 2

(ア)	当期に計上する受取利息	100,000 円
(イ)	キャッシュ・フロー見積法による貸倒見積高	74,436 円
(ウ)	破産更生債権等に対する貸倒見積高	2,600,000 円
(エ)	当期末の一般債権に対する貸倒実績率	3 %
(オ)	期末の一般債権に対する貸倒見積高	270,000 円
(カ)	当期の貸倒引当金繰入額	2,808,836 円

(ア) $2,000,000 \text{ 円} \times 5 \% = 100,000 \text{ 円}$

(イ)



1,925,564 円 (債権に係る将来キャッシュフローの割引現在価値)

*1 $2,000,000 \times 3 \% = 60,000 \text{ 円}$

*2 元本 2,000,000 円 + 利息 60,000 円 = 2,060,000 円

*3 $60,000 \times \text{現価係数 } 0.9524 \text{ (5\%, 1年)} = 57,144 \text{ 円}$

*4 $2,060,000 \text{ 円} \times \text{現価係数 } 0.9070 \text{ (5\%, 2年)} = 1,868,420 \text{ 円}$

額面 2,000,000 円 - 債権に係る将来 CF の割引現在価値 1,925,564 円 (*5) = **74,436 円** (貸倒見積高)

*5 上記と別の計算方法

$60,000 \text{ 円} \times \text{年金現価係数 } 1.8594 \text{ (5\%, 2年)} = 111,564 \text{ 円}$

$2,000,000 \text{ 円} \times \text{現価係数 } 0.9070 = 1,814,000 \text{ 円}$

1,925,564 円

(ウ) $3,000,000 \text{ 円} - 400,000 \text{ 円} = 2,600,000 \text{ 円}$

(エ) 貸倒実績率の算定

$\times 2 \text{ 年 } 3/31 : 330,000 \text{ 円} \div 8,250,000 \text{ 円} = 0.04$

$\times 3 \text{ 年 } 3/31 : 281,400 \text{ 円} \div 9,380,000 \text{ 円} = 0.03$

$\times 4 \text{ 年 } 3/31 : 180,800 \text{ 円} \div 9,040,000 \text{ 円} = 0.02$

3 年分の平均値 : $(0.04 + 0.03 + 0.02) \div 3 = 0.03$ (**3 %**)

(オ) 債権の分類 (貸倒れに関して特段の記述がないものが一般債権)

受取手形	一般債権	5,000,000 円
売掛金 (B 社)	破産更生債権等	3,000,000 円
売掛金 (上記以外)	一般債権	4,000,000 円
貸付金	貸倒懸念債権	2,000,000 円

上記より、一般債権は 5,000,000 円 + 4,000,000 円 = 9,000,000 円

一般債権の貸倒見積高 : 9,000,000 円 × 3 % = **270,000 円**

(カ) 貸倒引当金繰入額

勘定科目	債権の分類	債権額	①貸倒見積高	②決算整理前 貸倒引当金残高	貸倒引当金繰入額 (①－②)
受取手形	一般債権	5,000,000 円			
売掛金 (B 社以外)	一般債権	4,000,000 円			
一般債権計		9,000,000 円	270,000 円	65,600 円 ^{*2}	204,400 円
売掛金 (B 社)	破産更生債権等	3,000,000 円	2,600,000 円	0 円	2,600,000 円
貸付金	貸倒懸念債権	2,000,000 円	74,436 円	70,000 円	4,436 円
合 計			2,944,436 円	135,600 円 ^{*1}	2,808,836 円

*1 残高試算表より

*2 135,600 円 - 70,000 円 = 65,600 円

【4】

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

〔税引前当期純利益〕	(15,200)
減価償却費	(6,050)
貸倒引当金の増減額	(60)
受取利息及び受取配当金	(△ 570)
支払利息	(470)
有価証券評価益	(△ 160)
有価証券売却益	(△ 130)
売上債権の増減額	(△ 3,000)
棚卸資産の増減額	(△ 5,100)
仕入債務の増減額	(12,460)
未払金の増減額	(△ 3,200)
小 計	(22,080)
利息及び配当金の受取額	(570)
利息の支払額	(△ 470)
法人税等の支払額	(△ 4,340)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(17,840)

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出	(△ 850)
定期預金の払戻による収入	(550)
有価証券の取得による支出	(△ 1,460)
有価証券の売却による収入	(1,550)
関係会社株式の取得による支出	(△ 1,180)
長期貸付による支出	(△ 3,560)
長期貸付金の回収による収入	(830)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(△ 4,120)

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入れによる収入	(38,400)
短期借入金の返済による支出	(△ 45,360)
株式の発行による収入	(20,000)
配当金の支払額	(△ 8,500)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(4,540)

現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)

現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	(18,260)
現金及び現金同等物の期首残高	(10,600)
現金及び現金同等物の期末残高	(28,860)

【解説】

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー（小計欄まで）

(1) 税引前当期純利益から営業外活動による損益を除去する

営業外収益・特別利益	キャッシュ・フロー計算書では 減算する
営業外費用・特別損失	キャッシュ・フロー計算書では 加算する

受取利息及び受取配当金	$\Delta 290$ 千円（減算）＋ $\Delta 280$ 千円（減算）
有価証券評価益	$\Delta 160$ 千円（減算）
有価証券売却益	$\Delta 130$ 千円（減算）
支払利息	470 千円（加算）

(2) 非資金損益の調整

収益項目	キャッシュ・フロー計算書では 減算する
費用項目	キャッシュ・フロー計算書では 加算する

減価償却費	6,050 千円（加算）
-------	--------------

(3) 営業活動に係る資産・負債の増減額の調整

①資産項目

増加した場合（期首＜期末）	キャッシュ・フロー計算書では 減算する
減少した場合（期首＞期末）	キャッシュ・フロー計算書では 加算する

売掛金	$27,000$ 千円－ $24,000$ 千円＝ $3,000$ 千円（期首＜期末，増加）
∴売上債権の増減額	$\Delta 3,000$ 千円（減算）
商品	$192,200$ 千円－ $187,100$ 千円＝ $5,100$ 千円（期首＜期末，増加）
∴棚卸資産の増減額	$\Delta 5,100$ 千円（減算）

②負債項目・売上債権に対する貸倒引当金

増加した場合（期首＜期末）	キャッシュ・フロー計算書では 加算する
減少した場合（期首＞期末）	キャッシュ・フロー計算書では 減算する

買掛金	$56,700$ 千円－ $44,240$ 千円＝ $12,460$ 千円（期首＜期末，増加）
∴仕入債務の増減額	12,460 千円（加算）
未払金	$12,100$ 千円－ $15,300$ 千円＝ $\Delta 3,200$ 千円（期首＞期末，減少）
∴未払金の増減額	$\Delta 3,200$ 千円（減算）
貸倒引当金（売掛金に対するもの）	540 千円－ 480 千円＝ 60 千円（期首＜期末，増加）
∴貸倒引当金の増減額	60 千円（加算）

売上債権（売掛金）			
期首	24,000	収入	
			∴669,000
売上	672,000	期末	27,000

貸倒引当金			
取崩		期首	480
	∴0		
期末	540	繰入額	60

仕入債務（買掛金）			
支出		期首	44,240
	∴511,640		
期末	56,700	仕入	524,100

棚卸資産（商品）			
期首	187,100	売上原価	
			519,000
仕入	∴524,100	期末	192,200

未払金			
支払額	?	期首	15,300
		増加額	?
期末	12,100		

未払金は、問題文中で言及されていないため、期中増加額・支払額はわかりませんが、期首と期末の差額を、形式的に加減算して処理します。

キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

営業活動によるキャッシュ・フロー

〔税引前当期純利益〕	(	15,200	)
減価償却費	(	6,050	)
貸倒引当金の増減額	(	60	)
受取利息及び受取配当金	(	△570	)
支払利息	(	470	)
有価証券評価損	(	△160	)
有価証券売却益	(	△130	)
売上債権の増減額	(	△3,000	)
棚卸資産の増減額	(	△5,100	)
仕入債務の増減額	(	12,460	)
未払金の増減額	(	△3,200	)
小 計	(	22,080	)

2. 営業活動によるキャッシュ・フロー（小計欄以下）

小 計	(	22,080	)
利息及び配当金の受取額	(	570*	)
利息の支払額	(	△470*	)
法人税等の支払額	(	△4,340	)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(	17,840	)

*未収・前受、未払・前払に関して問題文に記述がないため、「PL 計上額＝現金受払額」と判断します。

未払法人税等		
法人税等の支払額	期首	2,680
△4,340	法人税・住民税及び事業税	
期末	2,900	4,560

3. 投資活動によるキャッシュ・フローの区分

定期預金の預入による支出	(	△850 千円 ^{*1}	)
定期預金の払戻による収入	(	550 千円	)
有価証券の取得による支出	(	△1,460 千円	)
有価証券の売却による収入	(	1,550 千円 ^{*2}	)
関係会社株式の取得による支出	(	△1,180 千円 ^{*3}	)
長期貸付による支出	(	△3,560 千円 ^{*4}	)
長期貸付金の回収による収入	(	830 千円	)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(	△4,120 千円	)

*1 期首 540 千円＋新規預入？千円－払戻し 550 千円＝期末 840 千円より、預入 **850 千円**

*2

有価証券		
期首	11,040	売却分の簿価
		△1,420
購入（その他の資料 5）		期末
	1,460	11,080
		（決算整理前残高）

有価証券の売却収入：

売却分の簿価 1,420 千円＋有価証券売却益 130 千円＝**1,550 千円**

*3 期末 2,230 千円－期首 1,050 千円＝1,180 千円（購入額）

*4

長期貸付金		
期首	18,300	回収
		830
新規貸付		期末
△3,560		21,030

4. 財務活動によるキャッシュ・フローの区分

短期借入れによる収入	(	38,400 千円 ^{*1}	)
短期借入金の返済による支出	(	△45,360 千円 ^{*1}	)
株式の発行による収入	(	20,000 千円 ^{*2}	)
配当金の支払額	(	△ 8,500 千円 ^{*3}	)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(	4,540 千円	)

*1

短期借入金		
返済		期首
△45,360		45,160
		新規借入
期末	38,200	38,400
		（その他の資料 7）

*2 会社法の規定では、原則として払込額の全額を資本金とするため、資本金の増減額から算定します。

期末資本金 180,000 千円－期首資本金 160,000 千円＝**20,000 千円**

*3

繰越利益剰余金

利益準備金積立	期首	40,420
※850		
配当	当期純利益	
∴8,500		10,640
期末	41,710	

※利益準備金積立額

期末利益準備金 17,850 千円－期首利益準備金 17,000 千円＝850 千円

5. 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	(18,260 千円 ^{*1})
現金及び現金同等物の期首残高	(10,600 千円 ^{*2})
現金及び現金同等物の期末残高	(28,860 千円 ^{*3})

*1 営業活動による CF17,840 千円－投資活動による CF4,120 千円＋財務活動による CF4,540 千円＝18,260 千円

*2 期首現金預金 11,140 千円－満期が3カ月を超える定期預金 540 千円＝10,600 千円

*3 期末現金預金 29,700 千円－満期が3カ月を超える定期預金 840 千円＝28,860 千円

【5】

連結修正仕訳

1. (1) 土地の評価替え

借方	土地	6,000	貸方	繰延税金負債	1,800 *
			貸方	評価差額	4,200

* $(16,000 \text{ 千円} - 10,000 \text{ 千円}) \times 30\% = 1,800 \text{ 千円}$

(2) 開始仕訳

借方	資本金当期首残高	214,400	貸方	子会社株式	300,000
	利益剰余金当期首残高	41,400	貸方	非支配株主持分当期首残高	52,000 * ²
貸方	評価差額	4,200			
	のれん	92,000 * ¹			

*¹ $(214,400 \text{ 千円} + 41,400 \text{ 千円} + 4,200 \text{ 千円}) \times 80\% = 208,000 \text{ 千円}$

$300,000 \text{ 千円} - 208,000 \text{ 千円} = 92,000 \text{ 千円}$

*² $(214,400 \text{ 千円} + 41,400 \text{ 千円} + 4,200 \text{ 千円}) \times 20\% = 52,000 \text{ 千円}$

2. 子会社当期純利益の非支配株主への按分

借方	非支配株主に帰属する当期純利益	8,400 *	貸方	非支配株主持分当期変動額	8,400
----	-----------------	---------	----	--------------	-------

* $42,000 \text{ 千円} \times 20\% = 8,400 \text{ 千円}$

3. のれん償却

借方	のれん償却額	4,600 *	貸方	のれん	4,600
----	--------	---------	----	-----	-------

* $92,000 \text{ 千円} \div 20 \text{ 年} = 4,600 \text{ 千円}$

4. (1) 売上高と売上原価の相殺消去

借方	売上高	200,000	貸方	売上原価	200,000
----	-----	---------	----	------	---------

(2) 期末商品に含まれる未実現利益の消去（ダウンストリーム）

借方	売上原価	7,000 * ¹	貸方	商品	7,000
貸方	繰延税金資産	2,100	貸方	法人税等調整額	2,100 * ²

*¹ $42,000 \text{ 千円} \times \frac{20\%}{120\%} = 7,000 \text{ 千円}$

*² $7,000 \text{ 千円} \times 30\% = 2,100 \text{ 千円}$

5. 売掛金・買掛金に関する相殺消去

(1) 債権・債務の相殺消去

借方	買掛金	100,000	貸方	売掛金	100,000
----	-----	---------	----	-----	---------

(2) 貸倒引当金の修正

借方	貸倒引当金	1,000 * ¹	貸方	貸倒引当金繰入額	1,000
貸方	法人税等調整額	300 * ²	貸方	繰延税金負債	300

*¹ $100,000 \text{ 千円} \times 1\% = 1,000 \text{ 千円}$

*² $1,000 \text{ 千円} \times 30\% = 300 \text{ 千円}$

6. 固定資産の売却に関する未実現利益の消去（アップストリーム）

借 方	土 地 売 却 益	8,000	*1	貸 方	土 地	8,000	
	繰 延 税 金 資 産	2,400			法 人 税 等 調 整 額	2,400	*2
	非支配株主持分当期変動額	1,120			非支配株主に帰属する当期純利益	1,120	*3

*1 20,000 千円－12,000 千円＝8,000 千円

*2 8,000 千円×30％＝2,400 千円

*3 (8,000 千円－2,400 千円) × (1－80%) ＝1,120 千円

7. 貸付金・借入金に関する相殺消去

(1) 債権・債務の相殺消去

借 方	短 期 借 入 金	20,000	貸 方	短 期 貸 付 金	20,000
--------	-----------	--------	--------	-----------	--------

(2) 利息の相殺消去

借 方	受 取 利 息	600	*	貸 方	支 払 利 息	600
--------	---------	-----	---	--------	---------	-----

* 20,000 千円×3％＝600 千円

8. 子会社の剰余金の配当の修正

借 方	受 取 配 当 金	12,000	*1	貸 方	剰 余 金 の 配 当	15,000
	非支配株主持分当期変動額	3,000	*2			

*1 15,000 千円×80％＝12,000 千円

*2 15,000 千円×20％＝ 3,000 千円

9. 繰延税金資産・繰延税金負債の相殺消去

借 方	繰 延 税 金 負 債	300	*1	貸 方	繰 延 税 金 資 産	300
	繰 延 税 金 負 債	2,400	*2		繰 延 税 金 資 産	2,400

*1 〈親会社〉繰延税金資産 100,000 千円＋2,100 千円＝102,100 千円 > 繰延税金負債 300 千円 ∴300 千円

*2 〈子会社〉繰延税金資産 2,400 千円 < 繰延税金負債 11,200 千円＋1,800 千円＝13,000 千円 ∴2,400 千円

〈法人税等調整額の集計〉

本問の個別 P/L において、法人税等調整額は親会社・子会社ともに借方残高である（法人税等に加算）ため、注意が必要です。貸方残高にマイナスの符号を付して集計すると、

5,300（親会社）＋1,500（子会社）－2,100（期末商品の未実現利益）＋300（貸倒引当金繰入の取消）－2,400（土地売却益の取消）＝2,600（法人税等に加算）